

## 普及活動情勢報告（令和7年6月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

### 枝豆の生産安定に向けて ～JA高知県四万十枝豆研究会総会～



5月26日、JA高知県四万十枝豆研究会が通常総会を開催し、委任状を含めて生産者7人が参加しました。

昨年度は、カメムシの被害や夏期の高温による影響で出荷量が減少したことから、農業改良普及所からは生産安定に向け、増収技術やカメムシ対策、農薬の適正使用について説明しました。

生産者からは、増収技術の費用対効果についての質問や、「市場の要請に応えられるよう安定出荷と仲間を増やしたい」などの意見がありました。

農業改良普及所は関係機関とともに、巡回指導等により農家の生産安定を目指します。

### シシトウの出荷が始まります！ ～JA高知県四万十シシトウ研究会出荷検討会～



6月11日、JA高知県四万十シシトウ研究会が出荷検討会を開催し、生産者8人が参加しました。

農業改良普及所は、高育交シシ15号の栽培指針に沿った栽培管理、令和6年度の農薬事故の事例をもとにした農薬の適正使用、農作業中の熱中症予防について情報提供を行いました。

生産者からは「高育交シシ15号のかん水管理に気をつけたい。」、「農薬の使用はより注意していきたい。」などの声が聞かれました。

農業改良普及所は、今後もJAと連携しながら、栽培技術指導及び農薬適正使用の指導によるシシトウの生産振興に取り組みます。

### 夏秋ピーマンの出荷に向けて ～JA高知県夏秋ピーマン生産部会目慣らし会～



6月12日、JA高知県四万十夏秋ピーマン部会が目慣らし会を開催し、生産者12人が参加しました。

農業改良普及所は、梅雨時期に向けた病虫害防除および農薬の適正使用についての情報提供を行いました。

生産者からは、梅雨時期の防除適期や薬剤散布の間隔などについての質問がありました。

農業改良普及所は、今後もJAと連携して、夏秋ピーマンの生産安定を図ります。

施設園芸について学ぼう！ ～窪川高校2年生出前授業 in農業担い手育成センター～



6月12日、農業担い手育成センターで窪川高校2年生を対象に出前授業を開催し、生徒7人が参加しました。

農業改良普及所は、高知県及び四万十町の農業、施設園芸の概要などについて説明しました。その後、施設ナスについて農業担い手育成センター職員が説明し、収穫作業を体験しました。

生徒からは、「何故実が黒くなるのか」、「他の野菜も同じ方法で作れるのか」といった質問があり、収穫体験も積極的に行われました。

農業改良普及所は今後も、関係機関と協力しながら、農業の魅力を伝える出前授業の開催に取り組みます。

R7年度の普及活動の取組は？ ～第1回高南地区農業改良普及推進協議会～



6月18日、農業担い手育成センター会議室で令和7年度第1回高南地区農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表や関係機関から委員10人が参加しました。

農業改良普及所から、今年度の普及計画の取組の説明や、基盤整備、就労環境整備、高温対策等について情報提供を行い、意見を交換しました。

委員からは、SAWACHI推進や農福連携、雇用就農、土壌消毒のやり方など多岐にわたる質問やご意見がありました。

農業改良普及所は、委員から出た意見等を今後の普及活動に反映し、地域や農業の課題解決に取り組んでいきます。